

【シリーズSDGs ③】身近なところからSDGsの取組をしましょう。

## ゴール3「すべての人に健康と福祉を」



SDGsゴール3は「すべての人に健康と福祉を」を目標としています。

世界では、基礎的な医療保険サービスを受けられない人が約36億5000万人いると言われています。多くの人が、病気になっても適切な治療が受けられず、症状が悪化し、亡くなっています。またその内、5歳の誕生日を迎える前に亡くなる子どもたちが年間560万人います。この背景には、予防接種やワクチン接種を十分に受けられない現状があります。

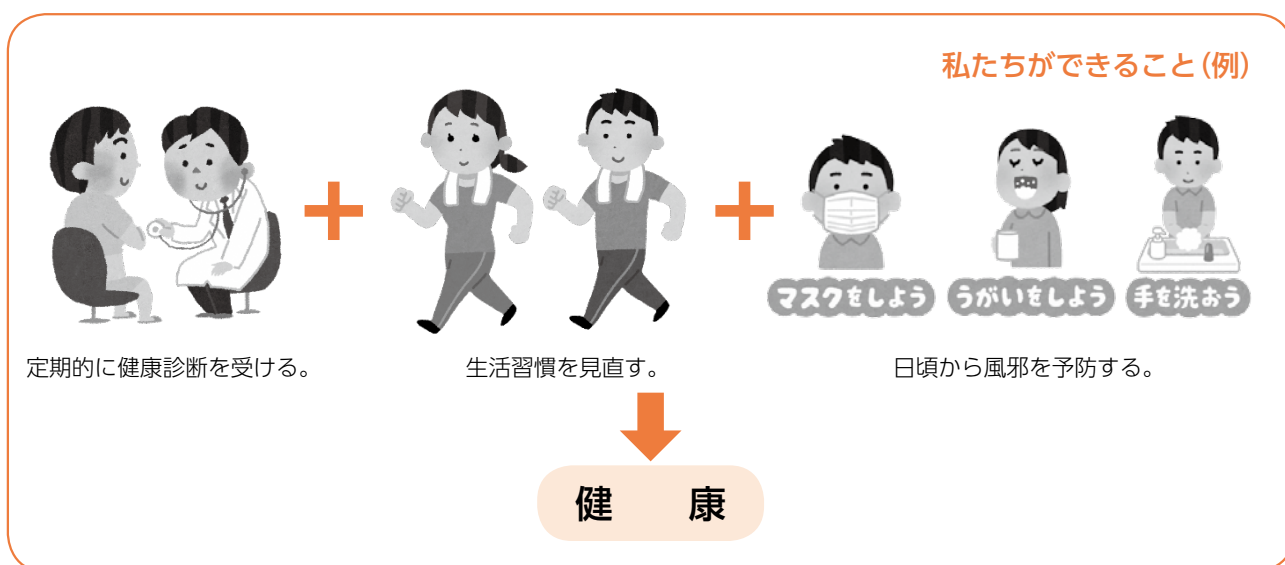
一方、日本では、医療体制や保険制度により多くの方が適切な治療を受けています。しかし、少子化や高齢化の進行により、医療費を負担する働く世代が減少し、病院にかかる人が増えると、医療保険制度が保てなくなる恐れがあります。健康であることを意識し、健康寿命を延ばすことが重要となります。

### ○行政の役割とことは

住民の健康維持は、自治体の保健福祉行政の根幹です。国民皆保険制度の運営も住民の健康維持に貢献しています。都市環境を良好に保つことが住民の健康状態の維持・改善に必要であるという研究も報告されています。

### ○私たちができること(例)

- ・マスクの着用、手洗い、うがいなどを行い、風邪などの感染症を予防する。
  - ・健康を意識し、生活習慣を見直す。
  - ・定期的に健康診断を受ける。
  - ・世界的な医療課題に興味を持ち、ワクチンなどの募金に参加する。
- 2030年までの国際的な目標の実現に向け意識をして実践しましょう。



## 目標達成のためのターゲット

- 2030年までに、新生児及び5歳未満の子どもが、予防できる原因で命を失うことがないようにする。
  - すべての人が、お金の心配をすることなく基礎的な保健サービスを受け、値段が安く、かつ質の高い薬を手に入れ、予防接種を受けられるようにする(ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ)。
  - 2030年までに、有害な化学物質や、大気・水・土壌の汚染が原因で起こる死亡や病気を大きく減らす。
- SDGs3「すべての人に健康と福祉を」では、上記のようなターゲットを13個掲げ、目標達成に向けて取り組みを進めていきます。

※公益財団法人 日本ユニセフ協会HP引用

問 企画商工観光課 企画・SDGs推進班 ☎(72)1151